

No.	取り組み項目	現状及び目標	主管課	関係課	期間全体の目標額
6	②公共下水道使用料の見直し		下水道課	—	1億円の増
	現状と課題	現在の下水道使用料は平成13年以降、何度か見直しの検討はされたが、改定はしておらず現在に至っている。また、今後は、設備の老朽化に対する維持管理などのための財源確保も求められてくる。			
	取り組みの内容	下水道使用料について、受益と負担のバランスや下水道会計の経営の面から検証し、見直しを行う。			
		〈現状〉 基本料金16立米まで 1,292円(2ヶ月分) 平成22年度下水道使用料決算額 5億3,587万円			
		〈目標〉 使用料の見直しの実施 平成24年度：方針決定／平成25年度：実施／平成26年度—			

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
24年度	スケジュール	・経営内容及び使用料不足額を報告 ・下水道審議会へ使用料改定を諮問	・下水道審議会で使用料改定を審議(改定率を審議)	・下水道審議会で使用料改定を審議(累進制を審議) ・下水道審議会使用料改定を答申 ・政策会議、部長会議へ付議審査、決定 ・12月議会へ使用料改定に伴う条例改正を提出	・上下水道一括納付管理システム改修作業開始 ・広報、チラシにより町民へ周知		目標どおり方針決定	<input type="checkbox"/> 予定以上 <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実施内容	・経営内容及び使用料不足額を報告書として作成 ・下水道審議会へ使用料改定を諮問した。	・審議会の中で、行政改革実施計画の目標改善額を踏まえ、使用料改定の必要性を説明し、改定への理解が得られた。	・審議会より使用料改定を要する旨の答申。 ・政策会議、部長会議を経て、平均改定率9.5%とする方針決定。 ・12月議会に使用料条例改定を上げ、可決。	・上下水道一括納付管理システム改修 ・広報、HP、チラシにより町民へ周知		(公共下水道使用料条例の改正についてはH24.12.14公布H25.4.1施行)	
その他取り組み事項等		なし						
次年度に向けた課題		定期的に使用料見直しを検討する。						

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
25年度	スケジュール	使用料に関し、改正後の条例を適用					目標どおり実施	<input type="checkbox"/> 予定以上 <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実施内容	【参考】 使用料改定による第1四半期末の効果額 (調定額の比較) H25調定額 170,130千円 H22との比較 7,622千円増 H23との比較 9,356千円増 H24との比較 5,763千円増	【参考】 使用料改定による第2四半期末の効果額 (調定額の比較) H25調定額 279,457千円 H22との比較 11,130千円増 H23との比較 14,734千円増 H24との比較 10,164千円増	【参考】 使用料改定による第3四半期末の効果額 (調定額の比較) H25調定額 462,370千円 H22との比較 27,786千円増 H23との比較 31,211千円増 H24との比較 23,361千円増	【参考】 使用料改定による第4四半期末の効果額 (調定額の比較) H25調定額 606,251千円 H22との比較 68,544千円増 H23との比較 74,142千円増 H24との比較 69,930千円増	使用料改定による効果額 (H25決算見込額と決算額との比較) H25見込額 605,243千円 H22との比較 69,366千円増 (H22決算額 535,877千円) H23との比較 73,839千円増 H24との比較 69,577千円増		
その他取り組み事項等		・近隣市町との情報交換に努める						
今後の課題		定期的に使用料見直しを検討する。						
単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		約6,937万円の増 (算出根拠) 下水道使用料収入額について、基準値とした平成22年度決算額(約5億3,587万円)と平成25年度決算見込額(約6億524万円)とを比較したもの。						

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
26年度	スケジュール	使用料に関し、改正後の条例を適用					目標どおり実施	<input type="checkbox"/> 予定以上 <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実施内容	【参考】 使用料改定による第1四半期末の効果額 (調定額の比較) H26調定額 212,827千円 (排水量増加分含む) H22との比較 50,319千円増 H23との比較 52,053千円増 H24との比較 48,460千円増 H25との比較 42,697千円増	【参考】 使用料改定による第2四半期末の効果額 (調定額の比較) H26調定額 326,133千円 (排水量増加分含む) H22との比較 57,807千円増 H23との比較 61,411千円増 H24との比較 56,841千円増 H25との比較 46,677千円増	【参考】 使用料改定による第3四半期末の効果額 (調定額の比較) H26調定額 525,472千円 (排水量増加分含む) H22との比較 90,892千円増 H23との比較 94,317千円増 H24との比較 86,466千円増 H25との比較 63,106千円増	【参考】 使用料改定による第4四半期末の効果額 (調定額の比較) H26調定額 635,335千円 (排水量増加分含む) H22との比較 97,628千円増 H23との比較 103,226千円増 H24との比較 99,014千円増 H25との比較 29,083千円増	使用料改定による効果額 (H26決算相当見込み額と決算額との比較) H26見込額 635,093千円 H22との比較 99,216千円増 (H22決算額 535,877千円) H23との比較 103,689千円増 H24との比較 99,427千円増 H25との比較 29,850千円増		
その他取り組み事項等		・近隣市町との情報交換に努める						
単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		約9,922万円の増 (算出根拠) 下水道使用料収入額について、基準値とした平成22年度決算額(約5億3,587万円)と平成26年度における決算相当見込み額(6億3,509万円)との差額。(平成26年度決算相当見込額は、平成27年度から公営企業となったことに伴い、旧官公庁会計方式に則り算出したもの)						